



NPO 法人 京都観光文化を考える会

都草だより

第94号
 発行人：小松香織
 編集人：相場まり子
 発行所：京都市上京区
 下立売通新町西入
 京都府庁旧本館2階
 電話：075-451-8146

■ 歴史探訪会南部会を担当



皆様初めまして。「歴史探訪会（担当：南部会）」に所属しております会員番号 847 萩原 志貴子と申します。第 122 回「東陣を歩いてみれば・・・」（3/26 開催）が、2 回目担当という新参者です。

実は今回の歴史探訪会は私の住んでいる地域を巡るものでした。お陰で何気なく通っていた周辺地域が大変歴史深い場所であることに気づかされ、地元への愛着が大幅にアップしました。これもひとえに、経験豊富な先輩方と一緒に幾度か現地の下見をし、資料作り等々指導いただいたおかげです。また訪問先も幾度かの打合わせ等で快諾していただき、当日の感銘深い説明に感謝しております。

さらに、今回参加された会員からすぐに「お疲れ様！楽しかったよ」と、ありがたい言葉と写真を頂戴しました。他の都草活動に参加した折に歴史探訪会に参加された会員からも嬉しい言葉と笑顔をちょうだいして、益々歴史探訪会活動が楽しく好きになりました。

これからも新参者の私を成長させてくださる「歴史探訪会」に敬意を払い、初心を忘れず、そしてなにより愉しんで、活動に励みたいと思っております。今後ともよろしく願い申し上げます。（会員 萩原 志貴子）



■ 観桜祭旧本館ガイドツアーを担当して



今年も恒例の観桜祭が 3 月 28 日から 4 月 12 日まで京都府庁旧本館で開催されました。

桜の開花状況や天気が気になるころですが、初日から見頃の桜とお天気に恵まれ、幸先のよいスタートとなりました。16 日間の長丁場ともなれば多くの会員の協力が必要です。この観桜祭には旧本館のガイドツアーが土日計 6 回開催され都草の会員が案内、私も初めて担当させていただきました。ドキドキして迎えた当日は聴覚障害者、手話通訳者を含め 22 名の団体を担当させていただきました。早口を自認する私は心してゆっくり話し始めましたが、途中早くなったり、通訳の存在を忘れて話し始めたり、通訳の間をおくと何を話していたか忘れたり、準備していたことの半分も伝えられなかったことに反省しきりでした。参加された方々は初めて見る旧本館のレトロな建築美に感嘆され、花びら舞う桜を堪能されたようです。旧議場はイベントの関係で十分時間が取れ

ませんでしたが、旧知事室では歴代の知事の話に興味を持たれ、手話を介して質問も出て非常に熱心に見学されました。このように皆様と触れ合うことで私も貴重な体験をさせていただきました。

会期中には雨に降られることも桜が散っていくこともありましたが、たくさんのお客様をお迎えすることができました。協力していただいた皆様、参加された皆様に感謝いたします。（会員 松田 典子）



■ 映画研究会の活動報告



3 月 6 日 旧本館ミーティングルームで映画研究会例会が開催されました。11 名のメンバーが参加し、今後の活動方針案や活動企画案などについて協議しました。また、昨年の国内外の映画、興行収入情報やアカデミー賞ノミネート作品等についての活発な情報交換がなされました。

映画研究会は昨年発足以来、部会のメンバーで京都のロケ聖地巡り、映画に関する識者や話題の人を招いたミニ講演会、京都映画賞イベントへの参加、映画観賞会等を実施。都草会員向けに昨年 9 月「東映京都撮影所を散策」を行い、会員 27 名が参加されました。

今後映画研究会内に運営事務局を設け、更なる活動の輪を広げる予定です。

なお、当日は例会の後、映画館での映画観賞会として「木挽町のあだ討ち」（主演 柄本佑）を鑑賞しました。さらにその後の懇親会では鑑賞後の意見交換やメンバー同志の映画全般に関するうんちくを披露するなど、大いに盛り上がりました。

当研究会では、会員皆様からの参加を募っています。京都は歴史的にも映画と深いつながりがあります。日本映画はあまり見なかったけれど映画「国宝」を見て興味を持った方や、映画は見ないけれど TV ドラマは好きだという方、皆さん大歓迎です。今後リニューアルされた「太秦映画村」の特別見学会なども企画しています。

ぜひ映画研究会に参加してください。（会員 加藤 朗彦）



■ 美化活動（妙法院）



第 266 回の美化活動は、初めて天台宗三門跡の一つである妙法院で行われました。清掃活動後、宸殿や宝物殿等を拝観させていただきました。当日の活動内容についてはホームページに掲載されている活動報告をご覧ください。この機会に美化活動の対象先の選定について少しお話しできればと思います。

美化活動で頭を悩やますのが対象先の選定です。実施にあたり、寺社のご意向の確認、実施時期や清掃場所等について幾度となく先方との打ち合わせが必要です。また会員の皆さんに遅くとも 2 か月前には案内する必要がありますことから、美化部内での選定作業は予定の数か月も前から行うこと

になります。参加される会員の皆さんが、清掃後に寺社の方から由緒や建物等のお話を聞けることを楽しみにされていることもあり、新しい対象先を増やしたいと思っています。一方で過去に実施した寺社からのリピート要請もあります。せっかくのご縁を大切にしたいので、実施後 3 年過ぎればこちらから先方に清掃活動の打診をするようにしています。これまでに実施した寺社は 100 か所あまりですが、そのうちの約 6 割の寺社で再実施しています。また、地域や交通の便等にも配慮するように心がけています。選定から実施まで苦労がありますが、清掃後の寺社の方からのねぎらいや感謝の言葉が部員の励みになっています。

美化活動に参加して 8 年目になりますが、雨天や不測の事態で活動中止になったことが極めて少ないのに驚いています。きっと神様、仏様のご加護があるのでしょうね。（会員 今村 京一）

